

当機構では、地域型年金委員の組織化を進めており、埼玉県年金委員会は先駆的な役割を果たしていただいています。ここでは、その活動内容について、ご紹介します。

埼玉県年金委員会の活動について

- 埼玉県においては、平成23年に「埼玉県年金委員会」が設立されており、「地域型年金委員連絡会(※)」と連携・協力しながら、委員相互の情報共有や地域における年金委員の活動の活性化を図っています。
※「地域型年金委員連絡会」とは、当機構が、地域型年金委員に対する情報提供や委員相互の意見交換の場として都道府県単位で設置(年金事務所単位で地区連絡会を構成)しているもの。
- また、令和3年には、①地域型年金委員活動について、形式ではなくできるだけ実態に沿った活動ガイドラインの作成、②職域型年金委員の方が退職後、地域型年金委員活動に参加していただくことを目的に、「(地域型)年金委員活動ガイドブック」の作成を行っています。

1. 設立の趣旨及び経緯

(1) 設立の趣旨

年金委員の活動がそれぞれに単独的な活動となると、方法、内容等がバラバラで、効果・効率が悪く、また活動の持続性も失われていきます。

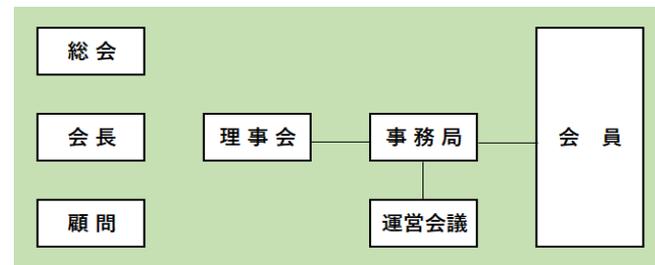
よって、年金委員を集団として組織化し計画的に対応していくことがより効果的な委員活動につながり、また、組織化により具体的に次のような目的の達成が可能との考えが基本となっています。

- ・ 活動遂行の継続性
- ・ 活動遂行の確実性
- ・ 活動遂行の信頼性
- ・ 年金委員の相互連携による活動の広がり
- ・ 年金委員の切磋琢磨による質的向上 など

(2) 設立の経緯

平成22年11月に、年金委員から活動促進に向けた組織化の要望があり、準備委員会の設置、会長の選任を経て、平成23年11月1日の設立総会で設立されました。

(3) 埼玉県年金委員会組織



- 年金委員は、あらゆる業界・団体等広い分野から参加された方々であり、委員会活動は色々な意見や考え方をを持った方々の集合体です。また、私たちの活動は、実態的には市民活動的な要素も持っているため、一部の事務局担当者の意向のみで事務局を担うと偏りも誤りも生じ行き詰ります。
- そこで事務局内に「運営会議」を設け、毎月活動上の課題を議論しています。なお、同会議の構成メンバーは、年金委員数名、関係団体、さらに年金事務所からも参加していただいています。

2. 「埼玉県年金委員会」の活動事例

埼玉県年金委員会が組織として行っている事業は、おおむね次のとおりです。

(1) 地域のネットワーク参加等の対応は、年金委員会が先頭に立って

- 年金制度を地域の中で周知していくためには、委員会が団体として、地域内の公的団体・施設、各種団体、事業体、地域コミュニティとヒューマンネットワークを構築することが必要と考えており、そのネットワークを活用して年金広報活動を展開していきたいと考えています。これは、日本年金機構の方針である「地域年金展開事業」の目的にも沿うものです。
- 年金事務所が事業として実施することが困難な分野等があれば、年金委員会がその分野等を引き受けて実施できないかものかとも考えています。これは年金委員会としての責任、または存在意義でもあり、少しずつ手探りしながら広げています。
- このような実績を積み重ねることにより、年金委員会の知名度、信頼度を高め、これが個々の年金委員活動の円滑な推進にもつながるものと考えています。

埼玉県年金委員会の活動について

(2) 「年金委員会」の団体としての主な活動例

① 年金出前講座

主催：埼玉県年金委員会・浦和地域代表年金事務所
協力：A市
講師：年金委員
場所：公民館



② 地域コミュニティへの団体加入

「浦和東部地区元気アップネットワーク」への参加



③ 地域イベント「健康フェア」年金コーナー出店

主催：上記地域コミュニティ
場所：さいたま市市立体育館



④ 年金セミナー

主催：上記地域コミュニティの1つの事業分野「みんなの学校」
協賛：浦和地域代表年金事務所
協力：埼玉県年金委員会
講師：年金委員
場所：公民館



⑤ 区民祭り「年金コーナー」で参加出店

主催：さいたま市
浦和地域代表年金事務所と埼玉県年金委員会が参加

⑥ 年金シニアライフセミナー

主催：埼玉県年金委員会
協力：浦和地域代表年金事務所、埼玉県年金協会、埼玉県社会保険協会
場所：J A 共済埼玉ビル
内容：「年金」、「医療・介護」、「ライフプラン・生きがい」（年5回程度開催）



埼玉県年金委員会の活動について

3. 今後の展望等(「魅力ある年金委員会」をめざして)

(1) 年金と地域課題(年金の課題は地域の中に埋もれています)

- どの地域においても、地域課題の中心は地域住民の生活の問題であり、その中でも経済＝年金は重要なテーマの1つです。
- 年金委員活動を通して、身近な人やイベントなどでの話や相談等を受けていると、それぞれに多くの課題や問題等を抱えていることを実感しますが、大切なことは、市民1人ひとりの事情が異なっても、長い将来を含めた自らの「年金」を理解し納得いただくための相談や助言を行うことと考えています。
- 年金に対する正しい知識や認識の浸透には、年金委員活動が地域の中へもっと入り込んでいく必要があるため、この活動が、地域の中での諸事業とネットワークを組んだ活動として展開することができれば、良い波及効果が期待できるのではないかと考えています。

(2) 魅力ある年金委員会をめざして

年金委員会の活動が、何を目標としていくかということは常に念頭に置いておく必要があります。

埼玉県年金委員会が当面目標とするものは、

ア 地域の中の多くのネットワークに参加し活動を広げ、地域課題でもある年金をテーマにして取り組んでいくことです。

これはまさしく、機構が推進する「地域年金展開事業」の目的であり、それをサポートするのが年金委員会の役割・責務であるため、この取組みに向けては、年金委員会の「かたち」も「活動」もしっかりさせていかなければならないと考えています。

イ これらの活動を通して、地域の中で年金広報や相談等の効果が少しでも理解され、年金委員会の存在が広く認知されることです。

どの地域においても、イベント等に地域課題の中心的テーマの1つである「年金」の参加を待ち望んでいることは、イベント等の相談内容から実感できるため、積極的に地域での活動を広げることで、魅力ある団体に一步近づくと考えています。

令和4年8月



日本年金機構

Japan Pension Service

相談・サービス推進部